



議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



行灯、市街を練り歩く！

北海道奥尻高等学校では、7月7日と8日の2日間、毎年恒例の「奥高祭」を開催し、賑わいをみせました。

とくに、高校生が学年ごとにそれぞれ製作する伝統となった行灯が奥尻市街地を練り歩くと、沿道から盛んに拍手や声援がおくられていました。

【主な目次】

●第2回定例町議会

- ・一般質問：工藤 勇議員 ……………P2
制野 征男議員 ……………P3～4
- ・報告、専決処分、補正予算、
条例、人事ほか ……………P5～6

●総務産業常任委員会 ……………P7～8

●議員研修会ほか ……………P9

第2回定例町議会

平成24年6月19日に「第2回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

一般質問

漁業に対する 独自施策の実現求める

工藤 勇 議員



具体的な支援策を講じなければ後継者も育たないことから、地域経済にあたる影響も大きい。

質問
採算のとれる漁業として

漁業は町の基幹産業であり、自治体として独自の施

策が必要であり、協業化などによる漁獲最低保障を制度化するなどの支援策を講ずる考えがありますか。

奥尻港湾の漁船



補償制度が近く承認の見通しで町独自策は考えていない

新村 卓実 町長

答弁

後継者育成の点ですけれども、奥尻町の未来を開く担い手育成事業の拡充について、助成の種類や進捗の実態からみましても、再構築する考えは現在のところもっていません。

協業化と漁獲最低保障の制度化ですが、国の漁業所得補償制度の導入に向けてひやま漁協においてすすめており、本年度中に国の承認がされる見通しであることから、町としての特別な支援策は現在考えていません。

国保改正による

認識と町への影響は



制野 征男 議員

新村 卓実 町長

国保財政への
影響を
懸念している

の役割と社会保障としての役割を踏まえた対応について、町村会を通じて政府に求める意思はあるのか伺う。

この事業は、保険者の保険料の標準化、財政運営の安定化を図るため、保険者からの拠出金を基に各都道

4月に法案の成立した国民健康保険法改正は国保の都道府県単位化を実行する内容となっている。
指摘すべきは、「保険財政共同安定化事業」の恒久化と、事業の対象が全ての医療費に拡大されたこと、国庫負担の削減、住民負担の増加、国保税収納率の向上に向けた都道府県の指導が強化されてくると思える。
この措置に対する認識と町への影響、また国保本来



▲奥尻町国民健康保険病院

コンクリートフレーム

工法の緑化の要請を

制野 征男 議員

宮津から勘太浜の集落にいたるまでの間には、極めて大きなコンクリートフレーム工法による崩落防止工事が行われている。
しかし、奥尻島は道立自然公園でもあり、コンクリートがむき出しになっていることは景観上好ましくなく、緑に囲まれた島にはそぐわないと感じる。
崩落防止の工事による工法として活用するということではなく、その後の措置としての緑化について放置していることに問題があると思うが、町としても葛（くず）・蔦（つた）類による緑化等について検討研究し、道に強く要請する意思はあるかお聞きしたい。

府県の国保連合会が実施主体となって交付金を交付するもの。
今回の法改正で恒久化されることには異論はないが、対象医療費が拡大されることによる本町国保財政への影響を懸念している。
本町としては他町と連携を図りながら管内町村会で協議し、全体的な保険者の財政負担緩和等必要に応じて道や政府に要望していきたい。

函館建設管理部
や関係団体に
要請していく

新村 卓実 町長

【答弁】

コンクリートフレーム工法は、崩落防止を図る工事としては現在ある工法の中で最良だと認識している。

葛・蕨類で覆い隠すことはフレームに障害がでる可能性があるため、目視でのパトロールでは傷み具合が把握できないため工法として見送りをし、また、他の工法による法面保護や緑化の検討及び各現場条件の把握をしている状況です。

いずれにしても、緑化については函館建設管理部だけでなく関係団体に要請していく考えです。



▲宮津～勤太浜間で行われている崩落防止工事

中学校統合の校舎は 奥尻高校活用すべき

制野 征男 議員

【質問】

中学校の統合問題が町政の大きな課題になる時期が近づいてきています。

新校舎の建設が一般的な

考えになりますが、奥尻高校の校舎を活用することを念頭に置くことも一考に価するのではないかと

校舎の無償譲渡など町立

高校への移管も含めた町の考えを聞きたい。

町立高校として
中高校一貫教育
の方向で
内部では協議中

新村 卓実 町長

【答弁】

道立高校の校舎内を活用する場合は賃貸が発生します。

譲渡を受けて

町立高校とした場合、中高が連携した教育課程の接続が可能で、学力の向上につながる、町の独自色を出した教育が可能、中高



▲北海道奥尻高等学校

生徒と教職員の交流がはかれる、スクールバスの運営における効率化がはかれるメリットがあります。デメリットとしては、施設の維持管理費増、遠距離の通学などがあります。町としては町立高校による中高一貫教育としての方向で、内部で協議をしています。

平成24年6月19日に開会された「第2回奥尻町議会定例会」で、次の事項について審議し、いずれも可決されました。

報 告

▽平成23年度奥尻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

……報 告

農業体質強化基盤整備促進事業の国庫支出金として2千4百30万5千円を翌年度繰越額としたことから、地方自治法施行令の規定により報告したものです。

専 決 処 分

▽平成23年度奥尻町一般会計補正予算(第10号)

……承 認

補 正 予 算

□平成24年度一般会計補正予算(第2号)

……原案可決

歳入歳出予算の総額に、それぞれ4千5百71万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を、32億5百94万4千円としました。補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

道支出金

1千6百66万2千円

財産収入

10万円

繰入金

2千8百45万1千円

諸収入 50万5千円

〔歳出〕

総務費 3百28万5千円

民生費 7百67万3千円

衛生費

2千1百11万1千円

農林水産業費

1百12万4千円

商工費 92万6千円

土木費 6百57万7千円

教育費 5百2万2千円

□平成24年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

〔第1号〕

……原案可決

歳入歳出予算の総額に、それぞれ4百99万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を、4億7千13万2千円としました。

□平成24年度国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号)

……原案可決

歳入歳出予算の総額に、

それぞれ20万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を、3千9百61万6千円としました。

□平成24年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)

……原案可決

収益的収入に2千万円を追加し、総額6億2千40万7千円に、収益的支出に8百36万1千円を追加し、総額8億3千73万円としました。

また、資本的収入に16万8千円を追加し、総額6百34万5千円に、資本的支出に1百53万6千円を追加し、総額1千4百80万3千円としました。



条例

○奥尻町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

……原案可決

外国人登録法の廃止に伴い、外国人登録に係る文言を整理するため、本条例の一部を改正しました。

○奥尻町税条例の一部を改正する条例

……原案可決

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、関連法令に準拠し本条例の一部を改正しました。

○奥尻町国民健康保険条例の条例

……原案可決

地方税法の一部を改正する法律等の公布に伴い、附則に東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る

譲渡期限の延長の特例の規定を加えるとともに附則の関連条項を整理するため本条例の一部を改正しました。

その他

◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

……原案可決

事業変更に伴い、内容を変更しました。

人事

◇監査委員の選任について

……同意

次の方が議会の同意を得て、選任されました。

奥尻町字赤石28番地

青坂 賢二 氏

任期 平成24年6月20日

～平成27年4月30日

意見書を提出しました

次の意見書を、関係機関へ提出しました。

◎障害者自立支援法の廃止を求める国への意見書

◎現行法（原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律）の改正を求める意見書

◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2の復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充にむけた意見書

◎道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

議会運営委員会を開催

◎けいれん性発声障害（S D）の研究・治療等の推進を求める意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

◎北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書

6月15日に開会された「議会運営委員会」において、6月19日から開会する「第2回奥尻町議会定例会」の議事運営について審議しました。

なお、会期については1日間とすること、上記7つの意見書を提出することなどを決めました。

決算審査特別委員会設置 9月会期中に開会

6月定例会終了後に「決算審査特別委員会」が設置され、委員長に制野征男議員、副委員長に工藤 勇議員を選出しました。

なお、決算審査特別委員会は、昨年度から9月定例会会期中に開会されることになり、今年度も9月に開会の予定です。

総務産業常任委員会

4月20日、5月18日、7月20日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

4月20日

国保病院関係

禿事務長より、国保病院の23年における病院の経営実態について報告がありました。

○給与費の減は、医師1名が減になっていることによります。

○年度による利益が生じているのは、町の一般会計からの繰り入れ分によるものであり、繰り入れによって維持されているのが実態です。



○来年度医師住宅を建設する予定であることから、使用されていない看護師宿舎を本年度に解体することにしていきます。
との報告がありました。

委員から、一般会計からの繰り入れの理由と、1億、2億と一般会計から繰り入れを受けるのは当然との意識ではなく、経営改善に鋭意努力すべきではないか、との意見が出されました。
事務長からは、不良債務が3億円あったものが半額になった推移もありますけれども、医師によるこまめな診療が必要であり、完結型の診療でなければ収益が上らないのは事実です。
との答弁がありました。
また、本院の歯科と青苗の歯科診療所とは、収入の差が大きいのは民間と公営との差によるものなのかとの質問がありました。
事務長からは、本院では歯科衛生士が正職員、青苗では臨時の衛生士であること、歯科医師の医療に対する考え、患者の負担軽減の考えが差に現れているものと思えます。
との回答でした。

住民課関係

田中住民課長から、「奥尻町地域福祉計画・平成24年から平成29年」、「第2次奥尻町障害者基本計画」と「第3期奥尻町障害者福祉計画」についての概要の説明がありました。

また、7月20日、21日に「生き生き福祉フェア」が開催される。
との報告がありました。

水産農林課関係

三上水産農林課長補佐の同行を求め、委員会は「水産物流通荷さばき施設」の現地視察を行いました。
同施設には、循環式水槽3基、機械設備、休憩室などが設置されています。
水槽ではナマコ、岩カキ、ヒラメ類の一時畜養用のために使用されます。



奥尻港湾に完成した「水産物流通荷さばき施設」



5月18日

建設水道課関係

■町営住宅の建設計画

小山内建設水道課長から鷹巣団地の町営住宅建設計画について報告を求めました。

委員から高齢者の家賃の減免措置、建設計画時による駐車場の設置、将来の人口動向を考慮した建設計画の有無などについて質問がありました。

質問に対して、家賃の減免はおこなっている、1台の駐車場は設置する、将来の人口の動向を踏まえた建設計画にしている。との答弁がありました。

■東泊風地区の上水道計画

東泊風地区の上水道については平成25年度に建設するもので、新たに貯水槽と本官の工事を行うこと

している。

本管から各家庭までの枝管については、現在の地区水道のものが利用できる。との報告がありました。

企業管理課関係

三浦企業管理課長から、自動車整備工場の過去の営業実績について資料にもとづき、定期点検基本手数料は他の整備工場と同程度の料金設定だが、一般整備の手数料は他の整備工場と比較して3千1百円から3千6百円低い料金設定となっている。

との報告がありました。

委員から、貴重な資料のまとめで参考になる、車検が長いとのクレームはないか、臨時職員を募集しているが職員の体制について、町内の保有台数を把握しているか、民間移管への話しはないのか。との質問が出されました。

特にクレームはない、車

検時に事前に点検し修理部品などは取り寄せている、3月に3名が退職し2名が臨時職員として採用したので、1名を募集している、普通車は1千57台、軽自動車では2千3百87台が町内の保有となっている、現段階では民間への話しはない、一般会計からの繰り入れも大幅に減っている。との答弁がありました。

7月20日

建設水道課関係

■新長浜道路の視察

奥尻・青苗間で工事が進められている「仮称・新長浜道路」の進捗状況を把握するため、現地視察を行いました。

現地では、函館建設管理部奥尻出張所の和泉所長や



▲早期完成が待たれる仮称・新長浜道路

小山内建設水道課長らから着工が18年度からと2年遅れになった経緯、用地買収が一部未解決のこと、現在の進捗率、供用開始は平成30年頃の予定であること。

また、委員からは、細かな質問や早期完成を望む声が出されていました。

教育委員会関係

■奥尻島津波館の視察

今年3月に奥尻島津波館の映像設備の更新工事が完成したことにより、その確認のため現地視察を行いました。

奥尻島津波館では、新谷教育委員会事務局長から概要説明を受けた後、3Dから2Dとなった映像を鑑賞しました。

委員からは2Dでも十分綺麗な映像ではないか、との感想が寄せられていました。



議員研修会に全議員参加

7月3日、札幌市の札幌コンベンションセンターで「北海道町村議会議長会主催議員研修会」が開催され、奥尻町議会議員8名全員が参加しました。

全道各地から1千人を超える議員らが参加したこの研修会では、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏が「議会改革の展望と課



題』と題し、また、外交ジャーナリスト・作家・慶応義塾大学教授の手嶋龍一氏が『「世界の中の日本・アジアの中の日本」〜日本の外交戦略を探る〜』と題してそれぞれ講演が行われ、各議員は今後の議会活動の参考になればと、時折うなずくなど真剣に耳を傾けていました。

青坂議員に自治功労表彰

北海道議長会表彰規程による自治功労者として、青坂 賢二議員（現副議長）が自治功労表彰を受けました。

この表彰は、町村議会議員として在職25年以上の方に贈られているも

ので、青坂議員は、昭和62年に奥尻町議会議員に初当選以来、長きにわたって在職されています。

なお、表彰状は、第2回定例町議会開会前に、麓議長から伝達されました。



全員協議会

6月19日に、8名の全議員が出席して「議員全員協議会」が開会されました。

協議会では「反問権」の行使について、9月の議会で実施していくこととした経緯について麓議長より報告があり、今後の「反問権」の行使について了承されました。

議会は、町民みなさんと行政を結ぶパイプです。

ぼうちょう 議会は傍聴することができます

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけ ☆★ 次の定例会は9月です。★★

奥尻町議会のうごき

4 月

- 14～17日 第39回東京奥尻島人会（東京都）……議長及び議員1名出席
- 20日 総務産業常任委員会開会

5 月

- 11～12日 檜山町村議会議長会総会（江差町）……議長出席
- 18日 総務産業常任委員会、議員会総会開会
- 18～19日 函館開発建設部表敬訪問（函館市）……議長出席
- 19～21日 札幌奥尻会第38回総会（札幌市）……議長及び議員1名出席



6 月

- 4～ 9日 北海道離島振興町村議会議長会監査及び総会及び北海道町村議会議長会総会及び道外先進地視察（札幌市、宮城県女川町、南三陸町）……議長出席
- 15日 議会運営委員会開会
- 19日 第2回奥尻町議会定例会、決算審査特別委員会、全員協議会開会
- 26日 広報編集特別委員会開会
- 26～28日 檜山総合開発期成会要望会（函館市、札幌市）……議長出席

編集を終えて

未曾有の大災害と言われる東日本大震災以降もひっきりなしの地震、冬には日本海側を中心に記録的な大雪を降らせた寒波、台風での水害、爆弾低気圧、しまいには竜巻と、例年になく自然災害がニュースとなっています。

この前の全道議員研修会で講師が言っていたが、フランス人は文化の違いとはいえ昼休みが3時間以上あって、その休みでワインを飲んでる国が潰れないのは、国の危機となる自然災害がないからだと言っていた。しかし、本当にヨーロッパは火山帯がなく地震が少ない場所で、日本から見れば羨ましい地域です。

しかし、日本は昔から災害を乗り越えてきた国であり、今の自然災害や政治的危機？も必ずクリアできるものと思っています。

講師が何度も言っていました、今こそ住民が一番近い市町村議員が頑張る時ですという言葉に、つい気合いが入ってしまいます。